

ガバナ-月信

vol.04 2024.10



月信10月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 米山記念奨学生親睦交流会
- ③ 第2分区 IM
- ④ 第4分区 IM
- ⑤ 第5分区 IM
- ⑥ 国際奉仕フォーラム
- ⑦ 第3分区 IM
- ⑧ ガバナー公式訪問報告
- ⑨ 地区ラーニング委員会
- ⑩ 財団委員会通信
- ⑪ 地区主要行事予定(10月・11月)
- ⑫ 新入会員紹介・訃報
- ⑬ コーディネーターニュース
- ⑭ ハイライトよねやま



国際ロータリー第 2560 地区
2024-25 年度

南雲ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574
ホテルイタリア軒 B1
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



重陽の節句

2024-25 年度 ガバナー

南雲 博文 (長岡 RC)

公式訪問も、ようやく半分の折り返しに入ってきました。

先日、誕生日の9月9日の翌日に新津中央 RC の公式訪問に行きましたら会場の各テーブルには花が飾ってありました。黄色い菊とワレモコウの清楚な花でした。毎回花を添えて説明があるようですが、今回の菊は重陽の節句の花ですが、花言葉は「高潔」だそうです。ワレモコウは「変化」だそうです。私がいつも話の中で、「変化」とロータリアンの「高潔さ」ということを言っていますが、まさに時を得たりでした。前半が終わりまして、各クラブの皆様から歓迎していただきまして、感謝しております。

先日は第3分区の IM にお呼びがかかりまして、基調講演をさせていただきました。

初めての経験でしたが、私がこうしてガバナーになれたことが、運と奇跡以外のなにものでもないということから話をさせていただきました。72歳まで生きられていることは、何か偶然と必然があって今に繋がっている。私たちはそれぞれの存在価値のもとに今日があり、運も貫っていると思うと、感謝すら湧いてくる気がします。

リーマンショックの時、創業者が病気で倒れ、私が社長に就任するわけですが、そのあと東日本震災、新型コロナ、幾たびかの大災害と立て続けでした。私の社長としてのよりどころの多くは、ロータリーの先輩、仲間からの勇気と力をいただいたことで乗り越えられたと思います。皆様の泰然とした経営姿勢が、まさにそれが職業奉仕の根幹です。

また、出会いの話をいたしました。大きく分けると同級生、職場、ロータリーとの出会いが多いです。最近はロータリーの方との交流が多くなってきました。逆に年とともにほかの交流が減ってきているということでしょうか。ガバナーをやらせていただき、この年になっても全国に知人ができてきました。まだまだ出会いがあったり交流が深まると思うと嬉しくなります。更にロータリアンとして何年いられるか、できるだけ永くいたいものです。そんな話とももちろんロータリーのお話もさせていただきました。

今回は、公式訪問と IM に参加したお話をさせていただきました。

今月は米山月間です！ 10月24日はポリオデーです！ よろしく願いいたします。

米山記念奨学生親睦交流会に寄せて

米山記念奨学委員会 奨学生・学友委員会
委員

大野 博美 (新発田城南 RC)

今年度の米山記念奨学生親睦交流会は佐渡に8月25日(日)、26日(月)の一泊二日の日程で行われ、奨学生21名、カウンセラー14名、地区委員15名、総勢50名の参加となりました。タイミング良く佐渡金山の世界文化遺産登録が決定し幸先も良く、心配だった天候も問題なく全員無事にほぼ予定通り交流会を終える事が出来ました。

佐渡たたこう館での鼓童スタッフ指導による太鼓体験、佐渡金山・北沢浮遊選鉱場見学、尾畑酒造見学、西三川ゴールドパークでの砂金採り体験、トキの森公園見学と様々な佐渡の歴史や文化を体験・見学していただきました。

そして夜の懇親会では佐渡南 RC 会長の本間 様、幹事の池 様にもご出席をいただき、感謝申し上げます。懇親会ではカウンセラーさんと奨学生、地区役員の自己紹介があり、その後、和やかな雰囲気の中でカウンセラーさん、奨学生、そして地区役員の皆さんの間で交流がゆっくり時間を気にせずに来れたのではと思います。皆さんが親睦交流会で得たこと、出来たつながりは皆さんが砂金採りで集めた砂金と同じで貴重なものだと思います。この砂金を沢山集めて未来につながる道をつくるお手伝いが出来ればと思います。

最後に、ロータリアンの皆さま、カウンセラーの皆さまにはいつもご協力とご理解をいただき、感謝申し上げます。お蔭様で今年度も米山記念奨学生親睦交流会を開催する事ができました。これからも宜しく願い申し上げます。





第2分区IM開催だより

第2分区ガバナー補佐

山崎 勲 (新潟北 RC)

2024-25年度 RI2560 地区・第2分区 IM が新潟北ロータリークラブをホストとして9月7日(土)に開催いたしました。

126名の参加をいただき盛大に行われた事に心より厚く御礼申し上げます。RI会長のテーマは『ロータリーのマジック』です。南雲ガバナーは地区目標に向かい一つに成って活力ある活動と一緒に進めて行く事を『ロータリーはステージ・みんなが輝く!』をテーマとして提唱されました。

活動目標としてはクラブの大小、地域差、年齢を超えてロータリーで活動していただき地域の活性化にも繋げていただきたい。また、クラブとしてそしてロータリアンとして新しい舞台で輝き周囲を巻き込みながら魅力的なステージでマジックを共有しましょうとの事です。これを第2分区として目的を共有し分区内での互換性を高め、情報交換と親睦活動を大いに深め、更なる活性化に繋がる『場』になればとの願いを込めて開催いたしました。

基調講演では1984年に開催されたロサンゼルスオリンピックにて体操の鉄棒の決勝競技に於いて10点満点の演技で金メダルを獲得された森末慎二様に貴重な体験など講演いただきアトラクションとして長岡市出身でロータリー財団国際親善奨学生としてミラノに留学されGマルツィアーリ音楽院を修了しソプラノ歌手として活躍されております坪内麗音様より皆さんがよくご存じの曲目を御披露頂きアンコールにも応えていただき、参加された方々にとって、第2分区ロータリアン同志の友情が更に深まったと感じた次第です。ご参加いただいた方々に心より厚く御礼申し上げます。開催の報告とさせていただきます。





第4分区 IM

第4分区ガバナー補佐

杉山 幸英 (三条 RC)

国際ロータリー第2560地区 第4分区 IM は、9月7日(土)に三条市のジオ・ワールドVIPでホストクラブである三条RC 渡辺良一会長以下会員の皆様のもと分区内の多数のロータリアンの出席を賜り盛大に行われました。

アーチックRI会長は「ポリオ根絶」「世界平和」「継続と変化のバランスでロータリーの活性化」を唱えておられます。クラブでの体験を魅力的にする為に過去50年間同じ事をしてきたなら見直す時期に来ているかも？見直す事により素晴らしい体験が出来るのではないのでしょうか。

南雲ガバナーは人口減少により、ロータリアンも減るので近隣クラブとの連携で出来なかった事が出来るのではないかと「ロータリーのマジック」「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」と継がります。

それにより、職業奉仕の発展で「好きなことだけを仕事にする」に継がり、株式会社スノーピーク代表取締役社長執行役員 山井太様により、スノーピーク「好きなことだけ！」を仕事にする経営、と題して素晴らしい講演を戴きました。

好きなことだけ仕事にするだけあって社員全員(事務職)もキャンパーだそうです。造るキャンプ施設もプロキャンパーによる設計・道具の修理・下取品のリメイク販売により、2050年カーボンニュートラル脱炭素社会の実現にも貢献しているそうです。

また、地方からのお誘いもあり、大きな開発を日本全国数カ所で行っているそうです。アメリカにも進出され、アメリカ式キャンプではなくスノーピーク式キャンプを広めているそうで順調に伸びているそうです。

懇親会では、三条RC会員の“成田秀雄& MARS2”の素晴らしい歌声に感激致しました。第4分区の皆様が一体となって近隣クラブと友好を図り、和やかかつ盛大に行われました。

IMの企画・設営は三条RCの中堅の皆さんが中心となり行われ、大盛会の内に終える事が出来ました。

その後の反省会も30名位の多数の会員が集まり、11年後のIMに夢を馳せておりました。



第5分区 IM

柏崎東ロータリークラブ
IM 実行委員長
田村 直敏

国際ロータリー第2560地区 IM 開催にあたり多勢の皆様にご参加いただき心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

今年は「新たなステージへ一歩踏み出そう」を IM のテーマに開催させていただきました。

この IM を通し、第5分区ロータリアンの皆様と親睦を深め、友情を築き、有意義な時間を過ごせるよう計画させていただきました。

講演会では、株式会社ミナロ代表取締役 緑川賢司様より「町工場の限界突破」というテーマで講演を行って下さいました。緑川様は、木型職人として勤務されていましたが、町工場は閉鎖となった為、その後、町工場と一緒に勤務されていた3名と共に企業をした会社です。

木型屋といって車や船の部品等を製造する会社で、当初は大変苦労され、情報発信の為にホームページを作成し、ブログやツイッター、フェイスブックなどの活用をおこない、新規顧客獲得の為に、全国の町工場との輪を広げていき現在取引先はすでに2500件以上の事です。

その後、コマを使用し町工場を盛り上げる為に「全日本製造業コマ大戦」を立ち上げ、製造業の活性化に貢献している事が評価され、テレビ、ラジオの出演に伴い、現在講演依頼も多くなったそうです。

講演の中で、我々の課題でもある全国の就労人口の7割が中小企業で日本経済を支えているのに、なぜその声が国づくりに反映されないのかという内容を話して下さいました。

第2部の懇親会では、市内上藤井神明社 神楽舞保存会より舞を披露していただきました。300年程前から石地の石井神社から伝わる大和舞は伝統ある舞です。12種類ある舞の中から今回は4演目の舞を披露していただきました。

次に当クラブのメンバー森様から中国楽器を使用し、二胡を演奏していただきました。皆様から大変良かったと高評価をいただきました。

最後になりますが、至らぬ点多々あったかと思いますが、何卒ご容赦いただけますと幸いです。

第5分区クラブの友情の輪を今後も広げていきましょう。今後ともよろしく願いいたします。





国際奉仕フォーラム より充実した国際奉仕活動推進の為

国際奉仕委員会
委員長

杉本 俊夫 (長岡東 RC)

南雲ガバナー年度の方針は「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」ですが、このテーマに沿った奉仕活動を進めてまいります。国際奉仕という名前ですが、基本的な考え方は地球上の全ての人は皆仲間であるという考え方です。

国際大会への参加

来年 2025 年 6 月 21 日から 25 日カナダのカルガリーで開催されますが、南雲ガバナー年度に当たりますので、大勢で参加したいと考えています。JTB（日本交通公社）加藤様からカルガリー国際大会のご案内をして頂きました。

グローバル補助金（GG）事業の内訳

- ・人道的プロジェクト
- ・奨学金：大学院レベルの留学
- ・職業研修チーム（VTT）：専門職業に関係する研修を提供するチームや、研修を受けるチームを海外に派遣

[7つの重点分野] 平和構築と紛争予防 疾病予防と治療

水と衛生 母子の健康 基本的教育と識字率向上 地域社会の経済発展 環境

新潟西 RC で実施されているのが環境に関する GG

担当の大澤様から環境に関する日本で最初の GG についてタイ国ドイジョラケでの内容をスライドと動画を用いご説明頂いた。

長岡東 RC で実施した理科実験室プロジェクトは基本的教育と識字率向上での GG

長岡東 RC、川崎南 RC、神戸須磨 RC、旭川西 RC で関連 GG が行われた。

① GG 等の参加方法

クラブ独自でシーズを見つけてゼロから開始して活動する。

② 他のクラブが主宰する GG に合流して活動する。相乗りする方法

通常の活動と専門家を派遣や招請する職業研修チーム (Vocational Training Team: VTT) もあります。

モンゴルフレール RC のバヤンバット会長から提案のあった新しい GG 企画 (図書室プロジェクトと 歯科検診プロジェクト) について紹介した。



(写真は長岡東 RC で取り組んだモンゴルの小学校での理科実験室プロジェクトの様子)





第3分区 IM 開催報告

第3分区ガバナー補佐
金子 洋 (村松 RC)

令和6年9月14日(土)、割烹 松の家において、第3分区のIMが行われました。今回のホストは村松ロータリークラブです。南雲ガバナー出席の下、「地域を結ぶ絆、ともに支える」をテーマに5クラブ58名の出席がありました。丸山雄一IM実行委員長の開会のことば、金子洋ガバナー補佐の挨拶、桑原一憲会長の歓迎のことばに続き前年度ガバナー補佐山田道夫様に記念品が贈呈されました。

式典に続き南雲ガバナーによる基調講演が行われました。内容はご自身の生い立ちに始まりロータリーでの出会い、職業奉仕について、公式訪問で感じた事等盛りだくさんな内容で勉強させていただきました。

記念講演として、越後が生んだ若手美人女流噺家の水都家小鶴様より古典落語「小ほめ」の噺をいただきました。本業は市会議員の鶴巻ゆうこ様ですが、本格的な噺で会場が一気に和んだ後、次年度ガバナー補佐池比呂史の挨拶で前半は終了しました。

懇親会では、次年度ガバナーの室賀信宏様の挨拶を交え、村松ロータリークラブの提唱する「異次元の親睦」で多いに歓談し、最後には「手に手つないで」を合唱し終了となりました。以上報告いたします。参加いただいた皆様、有り難うございました。





ガバナー公式訪問報告

佐渡 RC

会長 山口 正明

幹事 小笠原 靖

会場： のがたハウス

当クラブでは、ほぼ毎年先輩の方々が、「公式訪問が無事済んだならこの年度も半分終わったようなものだ」と申しておりました。ガバナー様はじめ皆様も大変なおつとめです。受け入れるこちら緊張の1日です。

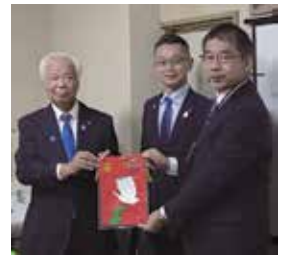
佐渡ロータリークラブも本年7月18日に「公式訪問」をいただきました。ありがとうございました。こちらの我がままをお聞

きとり、数々のご指導感謝申し上げます。

公式訪問、毎年内容が工夫されご心労かと思ひます。これからも「公式訪問」をはじめ地区からもご支援賜りますようお願い申し上げます。

ロータリアンの皆様とともにお大事に。

佐渡 RC 会長 山口 正明



直江津 RC

会長 品川 久美子

幹事 大滝 義文

越後春日山 RC

会長 宮崎 朋子

幹事 内山 勇人

会場： ホテル センチュリーイカヤ

2024年8月20日、ホテルセンチュリーイカヤにて国際ロータリー第2560地区直江津RC、越後春日山RC合同でのガバナー公式訪問が開催されました。

午前中には南雲博文ガバナー、村上敦子筆頭副幹事、高野裕裕地区副幹事をお迎えし、和泉伸一郎ガバナー補佐の司会進行のもと、両クラブ執行部とRAC小川地区代表、直江津RAC古澤会長を交え、懇談会が開催されました。両会長からのクラブ紹介の後、南雲ガバナーから会員拡大やクラブ運営など様々なテーマについてアドバイスをいただきました。例会会場が隣同士のクラブですが、今まで一緒に活動する機会があまりなかったため、合同での懇談会はとても有意義でした。越後春日山クラブは来年4月に30周年を迎えるとのお話が宮崎会長からあり、同じ第7分区の仲間として、とても楽しみ

にしております。

お昼からの例会の席はクラブ単位ではなく、両クラブが同じテーブルになるよう、お食事中的会話も楽しんでいただけるようにレイアウトいたしました。例会セレモニーでの会の進行も各クラブによって違いがあり、とても新鮮でした。ガバナー講話では、ガバナーの自己紹介の後、ステファニー A. アーチック RI 会長の年度テーマ「ロータリーのマジック」、地区運営方針「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」について詳しくお話いただきました。それに沿いながら、今年度の事業を進めて参ります。初めてのことで慣れない点多かったと思いますが、実りある会でした。ご参加いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

直江津 RC 会長 品川 久美子



新発田城南 RC 会長 荘司 寿伸 幹事 村山 和重

会場： 割烹はまや

2024年8月22日、当クラブに南雲ガバナー・土田地区副幹事・風間第一分区ガバナー補佐が来訪され、ガバナー公式訪問が開催されました。

こちら新発田は城下町でありますので、街中は基盤の目。

細い路地ばかりでございますため、さぞや来られる際に苦労されるかなと心配しておりましたが、お三方とも時間前に爽やかな笑顔でいらっしゃいまして、安堵いたしました。

公式訪問前の懇談会では、当クラブが抱えております喫緊の課題について、真剣に耳を傾けていただき、またアドバイスを頂戴しましたことに感謝申し上げます。

ガバナー講話では、ロータリー経歴20年、創業者からは

・褒められたら笑われていると思え

・アウトローがいつか王道になる

・朝早い会社は倒産しない

と言われ続けておられたとお聞きし、午前5時の私は思わず膝を叩いたものでした。

これからのロータリーの形として、他クラブとの連携事業等に関しましてお話をいただきました。今後クラブにて検討の余地があると考えております。

会長挨拶では、南雲ガバナーの来訪ですので、真面目な話をするつもりでしたが、インターアクターもいらしてましたので、ちょっと碎けてカーネルサンダースの話をいたしました。ご容赦いただければと存じます。

この度のガバナー公式訪問、大変ありがとうございました。

新発田城南 RC 会長 荘司 寿伸



高田 RC 会長 飯塚 宏佳 幹事 細野 仁
高田東 RC 会長 橋本 洋一 幹事 大島 隆一郎
新井妙高 RC 会長 田中 正人 幹事 安原 裕也

会場： デュオ・セレッソ

2024年8月23日に南雲博文ガバナーをお迎えして、新井妙高 RC、高田東 RC、そして当クラブ高田 RC の3クラブ合同でのグループ公式訪問を開催させていただきました。

例会が始まる前に南雲ガバナー、和泉ガバナー補佐、阿部地区幹事、高野地区副幹事、内山徹地区大会副実行委員長を囲んでの3クラブ合同の懇談会が行われました。

高田 RC は衛星クラブに関する取り組みを、新井妙高 RC は会員増強とクラブターゲットの話を、高田東 RC はインターアクトと青少年交換を中心に身の丈に合った顔の見える活動を行っていることがガバナーにお伝えしました。

当初は1クラブ毎の予定だったものを3クラブ合同へと変更して行われたのですが、和泉ガバナー補佐から満遍なく話を

振っていただき、各々思っていることをガバナーにしっかりお伝え出来たのではないかと思います。また阿部地区幹事、高野地区副幹事からも貴重なご意見をいただけて、とても有意義な懇談会になりました。

当クラブは以前より新井妙高 RC 様と高田東 RC 様とは一年に一度合同例会を行っております。その経験もあり、その後の例会もスムーズに進行できたのではと思います。南雲ガバナーからいただいた卓話の中でもクラブ間の交流や共同での事業の話がありましたが、そのご指導の下、これまで以上にクラブ間で協力していきたいと思っております。

当日は皆様お越しいただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。

高田 RC 会長 飯塚 宏佳



村松 RC
阿賀野川ライン RC

会長 桑原 一憲

幹事 周佐 駿

会長 國井 嘉樹

幹事 栗原 修平

会場： 割烹 松の家

8月27日(火)五泉市村松「割烹松の家」にて南雲ガバナーよりご来訪頂き、阿賀野川ライン様と合同で公式訪問を行いました。

第1部の合同懇談会では、阿賀野川ライン様の台湾姉妹クラブとの交流やポッチャ大会など長年継続事業についてお聞きし、会員数が6名と小規模で厳しいクラブ運営が続いている課題について。村松クラブは昨年度25%の会員増強、今年度女性会員を含む2名増強し、順調に活性化している一方で、入会歴が浅くロータリーの本質に対する理解度が浅いなどの課題が挙げられました。それらの課題を中心に意見交換が行われ、分区分間の連携を強化し、お互いの強みを活かし、弱みをカバーし合うことで持続性を高める関係性の構築が必要であると纏まりました。

第2部は南雲ガバナー講話を中心とした合同例会でした。懇談会の流れを受けて、国際ロータリーテーマ「ロータリーはマジック」それは変化であり、地区スローガン「ロータリーはステージ・みんな輝く！」ために、私たち小規模クラブは近隣クラブ、分区分間の連携を強化することが必要であると南雲ガバナーより提言がなされ、出席メンバーの心を一つにしたところです。最後は村松クラブ恒例のアチャット(時事クイズ)はお楽しみ頂けましたか？

第3部のガバナー歓迎懇親会では、南雲ガバナーと親睦を深めることができ、若い世代が多い我々メンバー一同大変感激し、有意義な一日となりました。

今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

村松 RC 会長 桑原 一憲



新潟西 RC

会長 高木 豊隆

幹事 稲葉 忠克

会場： ホテル日航新潟

8月29日 RI第2560地区南雲博文ガバナー、山崎ガバナー補佐、長島地区副幹事、高野地区副幹事をお迎えして公式訪問が開催されました。昨年度、我が西ロータリーに入会者が多数13名とお褒めの言葉をいただきました。南雲ガバナーの自己紹介や RI 会長ステファニー・アーチック氏との国際会議場での写真のご披露もありました。西ロータリークラブは今年50周年で、RI会長からのお祝いメッセージ書を南雲ガバナーから手渡していただきましてとてもありがたく頂戴いたしました。また、宗村勇二さんの入会式

がガバナー公式訪問に出来ましたことは、本当に嬉しく思っております。ガバナーより、宗村さんにロータリーバッジも付けていただきました。

私達西ロータリー会員一同、南雲ガバナーの意を会員全員に承知していただき、第2分区分山崎ガバナー補佐を盛り上げ、最終的に南雲ガバナー率いる2560地区が盛大に盛り上がるよう、ご協力ご支援したいと思っております。

南雲ガバナー、山崎ガバナー補佐、長島地区副幹事、高野地区副幹事のご訪問に心から感謝申し上げます。

新潟西 RC 会長 高木 豊隆



新発田 RC

会長 石井 良樹

幹事 下村 栄

会場： 割烹 志まや

2024年9月2日、新発田ロータリークラブ例会において、南雲ガバナーの公式訪問を開催させていただきました。ご多忙の中お越しいただいた、南雲ガバナーと風間ガバナー補佐として阿部地区幹事、中野地区副幹事には例会からガバナー講話、ガバナー懇談会まで大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

当日の新発田ロータリークラブ例会は、米山記念奨学生のレジナさんが参加され、また8月中旬にアメリカから来日された長期交換受入学生のエラさんが初めての例会参加となりました。新発田クラブの会員は元より、南雲ガバナーと風間ガバナー補佐を始めとする地区役員の皆さんとレジナさん、エラさんが交流できたのは嬉しいことであります。日本での生活

というステージに立ったレジナさん、エラさんのご活躍を期待したいと思ひますし、お声を掛けてくださった南雲ガバナーと地区役員の皆さんには心から感謝申し上げます。

そして例会終了後には南雲ガバナー及び地区役員の皆さんと、新発田ロータリークラブ石井会長を始めとする役員と懇談会を開催しました。クラブ運営に関わる意見交換をさせていただいた中で、新発田ロータリークラブの「運営」「歴史」「品格」「統制」等々、お褒めの言葉を頂戴しました。多くの課題もありますが、新発田クラブらしく進んで行きたいと考えます。

末筆となりますが、南雲ガバナーと2560地区のステージが益々盛会となることを心からご祈念申し上げます。

新発田 RC 会長 下村 栄



豊栄 RC

会長 鈴木 秀明

幹事 篠沢 貴徳

水原 RC

会長 永松 健太郎

幹事 臼井 直哉

会場： 割烹 町北幸

9月3日(火)、南雲博文ガバナー、高野裕地区副幹事、風間良光ガバナー補佐をお迎えして、合同公式訪問が開催されました。南雲年度では合同での公式訪問が推奨されていますが、水原 RC と豊栄 RC は昔から合同での公式訪問のため、設営も進行も例年どおりという雰囲気がありました。まず、合同での懇談会ではクラブの現状と課題を説明した後、会員増強の取り組みなど、各種の課題について活発な意見交換が行われました。南雲ガバナーから直接にご意見をいただき、また他クラブの取り組みなどが分かることから、今後のクラブ運営を考えるための大変に有意義な時間となりました。その後、合同例会においては、南雲ガバナーから地区運営

方針について講話をいただきました。プロジェクターを使用した分かりやすい内容であり、各会員に対して直接にご説明いただける貴重な機会となりました。講話後も会員からの質問にも丁寧に回答いただき、地区運営方針について共有できました。最後の合同懇親会にも引き続きご参加いただき、和やかな雰囲気のもと更に意見交換を行い、大いに盛り上がりしました。

今回の合同公式訪問を1つの機会として、地区のテーマである「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」を実践できるクラブ運営を心掛けていきます。

豊栄 RC 会長 鈴木 秀明





室賀年度 ガバナー補佐 ラーニングパート 2 の実施報告

地区ラーニング委員会
ラーニングチーム委員

山本 剛史 (新潟南 RC)

7月13日に開催された「室賀年度ガバナー補佐ラーニングパート1」に引き続き、「室賀年度ガバナー補佐ラーニングパート2」が8月31日(土)に白根「割烹月映」におきまして6名の室賀年度ガバナー補佐に対して実施されました。

パート1の受講内容についてのアンケートでは、これまで漠然としたガバナー補佐の責務が、はっきりとしたものになっている事を推察される結果となりました。

パート2では、高橋ラーニングファシリテーターによる前回のおさらいによって、パート1で学ばれた内容を更に理解を深める事から始まりました。

続いて、西方ラーニングチームリーダーによる「DLP(地区リーダーシッププラン)」の説明を受けました。その中で「DLPの主役は“ガバナー補佐”である」という発言が、大変印象深く記憶されたものと思われま

す。
休憩を挟んで再開された後は、関川ラーニング委員会副委員長による“ガバナー補佐を語ろう”と題して、みなさんで意見交換をされましたが、その中でも「ガバナー補佐の役割は、クラブに寄り添い、クラブの現状を知り、ガバナーに報告し、そして問題を共に解決する事である」事を改めて認識を新たにされている姿が印象的でした。





最後のプログラムとして、ボーイドさんによるラーニングセンターに実際にアクセスして、「ガバナー補佐の基本」のプログラムの中にある「就任の準備：ガバナー補佐」を受講する方法等についてラーニングしました。

終わりにあたり、富山ガバナーノミニーより、ご自身がガバナー補佐をやられた経験等を踏まえたお話をいただき、無事に全プログラムを終了いたしました。

参加されたガバナー補佐の皆様には、佐藤ラーニング委員長より、修了証が手渡され、室賀年度が始まるにあたっての決意を新たに致しました。



～補講～

当日、欠席された第4分区青柳ガバナー補佐に対して、9月11日に補講を実施いたしました。

本講と変わらぬ熱の籠った内容で、無事に修了証を授与し終了しました。



今年度、当委員会が担当するラーニングは、11月に予定されている「室賀年度クラブ会長幹事ラーニング」と2月開始予定の「地区チームラーニングセミナー」、そして5月に予定されている「ビギナーラーニング」です。

更に良いものにしなければと、委員会一同気を引き締めてまいります。



以上

「世界でよいことをしよう」

財団委員会通信

ポリオを根絶するためにあなたにできること
～何故 40 年以上も寄付が必要なのか？～

ロータリー財団委員会 資金管理委員 高坂 光一(高田 RC)

9 月 13 日 (金)、高田ロータリークラブ例会に RI2690 地区パストガバナー (2014-15)、第 3 地域ポリオ根絶コーディネーター (2015-21) を努められた益田西ロータリークラブ松本祐二様をお迎えして「ポリオを根絶するためにあなたにできること ～ 何故 40 年以上も寄付が必要なのか？～」と題し卓話をいただきました。

例会には、地区外から松本さんを含む 3 名のパストガバナーの他、パキスタンで活動を共にするガバナー補佐、クラブ会長等 8 名のポリオ仲間に加えて地区内から 21 名、計 29 名のメイキャップをいただき、内容の濃い有意義な例会となりました。

卓話は、「ロータリー章典 (2022 年 10 月) 40.04 0.01 新しい RI プロジェクトでポリオプラスプログラムが成功裏に終了するまで、いかなる他の組織全体のプロジェクトも検討されない (2017 年 1 月理事会会合、決定 87 号)。」とあるとおり、ロータリーの最優先目標は変わっていませんという切り口から始まり、その後パワーポイントを使い、①活動対象のポリオという病気について、②なぜ取り組むのか、③過去から現在まで GPEI の行ってきた活動、④私たちが行っている寄付の使途、⑤根絶宣言の条件、⑥根絶された際の地域経済への期待される効果等様々な視点で触れられ、中でも根絶可能な感染症の条件を説明した上で「ポリオは人以外の動物に感染をしないため、必ず根絶はできる！」と明言されたことに加え、根絶が進まない要因の一つに海外では政府の思惑もあるという衝撃的な内容、卓話の結びに「ポリオの根絶に一番大切なことは “平和の構築”」と語られたメッセージは会場の皆さんに深く刺さったことと思います。

途中でポリオ根絶活動は「あとチョット、もうチョット詐欺」じゃないかと言われ困ったと苦笑交じりに話されていたこともアクセントとなったことでしょう。

例会後、「はじめてポリオ活動の何たるかを知ることができた」と声をかけてくれた方々の言葉が心に残る例会となりました。

ポリオ根絶はロータリークラブが WHO・ユニセフ・CDC 等パートナー団体等と「世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI)」を立ち上げ 1988 年から本格的に活動が始まり、活動当初世界 125 ヶ国に広がっていた野生型ポリオも現在では常在国はアフガニタンとパキスタンの二か国にまで抑え込むことに成功し根絶まであと一步のところまで来ていますが今年に入り増加傾向となっています。

ロータリーの友 9 月号エバンストン便りの「野生型ポリオウイルスによる症例数」では 7/24 現在アフガニスタン・パキスタン共に 9 例の計 18 例ですが、直近 9/15 の WHO データではアフガニスタン 19 例、パキスタン 20 例の計 39 例となっています。

増加の理由は松本さんも話された通りよくわかりませんが、今まで政情不安などで立ち入れなかったエリアにも入れるようになったということも考えられます。

1988年以來、ロータリークラブが多くの人材と費用を根絶活動にあてあと一歩となったポリオ根絶、いましばらく時間はかかりそうですが必ず根絶は可能だと希望を持ち皆さんと歩んでいきたいと思ひます。

そのためには、活動を継続するための資金が必要になります。現在ビル&メリンダ・ゲイツ財団はロータリーのポリオ寄付の2倍を支援してくれてあります。是非皆さまにはポリオ根絶に対してご理解を賜り寄付目標30ドル/人にご協力をお願い申し上げます。

結びに、当日ご参会頂いた地区内外のロータリアンの皆様に心より感謝申し上げます。

(追伸) 今年12月、来年3月も松本さんや仲間と一緒に活動をする予定です。そこで見たこと感じたことについて報告させていただく機会を与えて頂ければと願ひます。



第 2560 地区 2024-25 年度 8 月末 会員数報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2024年 7月1日	8月末 会員数	うち女性	増減
第1分区 (9クラブ)	△	-	377	386	44	9
新発田	2	31.1%	87	90	1	3
村上	4	20.0%	38	40	9	2
水原	3	26.5%	33	34	2	1
中条	3	98.0%	49	50	3	1
新発田城南	3	23.1%	39	40	6	1
豊栄	2	26.1%	23	23	2	0
新発田中央	4	9.1%	43	44	6	1
中条胎内	3	48.7%	39	39	9	0
村上岩船	3	30.8%	26	26	6	0
第2分区 (9クラブ)	△	-	447	455	31	8
新潟	3	32.1%	78	81	3	3
新潟東	3	17.5%	62	63	7	1
新潟南	3	36.2%	113	115	8	2
佐渡	2	75.0%	4	4	0	0
新潟西	4	37.0%	52	54	3	2
佐渡南	2	13.2%	38	38	3	0
新潟北	3	32.4%	37	37	1	0
新潟中央	2	34.8%	23	23	0	0
新潟万代	4	55.0%	40	40	6	0
第3分区 (5クラブ)	△	-	94	98	8	4
新津	3	26.7%	15	15	1	0
村松	3	52.9%	15	17	1	2
白根	4	27.3%	31	33	2	2
新津中央	3	37.0%	27	27	4	0
阿賀野川ライン	3	0.0%	6	6	0	0
第4分区 (11クラブ)	△	-	354	359	30	5
三条	3	12.7%	54	55	0	1
燕	3	7.0%	42	43	3	1
加茂	3	10.3%	29	29	4	0
三条南	3	23.1%	37	39	3	2
分水	3	70.0%	30	30	4	0
見附	3	5.0%	20	20	1	0
吉田	4	4.2%	24	24	3	0
三条北	3	13.2%	52	53	4	1
巻	3	7.7%	26	26	2	0
田上あじさい	3	16.7%	6	6	2	0
三条東	4	20.6%	34	34	4	0

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2024年 7月1日	8月末 会員数	うち女性	増減
第5分区 (7クラブ)	△	-	297	301	30	3
長岡	3	65.3%	47	49	5	2
柏崎	3	2.2%	45	46	0	0
長岡東	3	26.7%	60	60	9	0
柏崎東	3	19.5%	41	41	2	0
栃尾	3	19.0%	20	21	1	1
長岡西	3	20.4%	49	49	3	0
柏崎中央	3	28.6%	35	35	10	0
第6分区 (6クラブ)	△	-	114	123	11	9
十日町	3	25.0%	28	36	7	8
小千谷	3	14.8%	27	27	2	0
雪国魚沼	3	19.2%	26	26	2	0
十日町北	2	0.0%	10	11	0	1
津南	3	28.6%	15	15	0	0
越後魚沼	2	25.0%	8	8	0	0
第7分区 (7クラブ)	△	-	303	311	21	8
高田	4	36.8%	67	68	4	1
直江津	3	35.6%	72	73	6	1
新井妙高	3	16.7%	34	37	1	3
糸魚川	4	90.7%	43	43	3	0
高田東	3	54.3%	33	35	2	2
糸魚川中央	4	50.0%	26	28	1	2
越後春日山	4	81.5%	28	27	4	-1

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,986 人
8月末会員数	2,033 人
女性会員数	175 人
純増減会員数	47 人
My Rotaryアカウント登録率	30.4 %

地区主要行事予定

2024年9月24日現在

年 月 日		行 事		会 場	
2024年 (R6) 南雲年度	10月	地域社会の経済発展月間・米山月間			
		1	(火)	公式訪問 ⑤長岡RC・栃尾RC	長岡グランドホテル
		2	(水)	公式訪問 ⑤長岡東RC・長岡西RC	ホテルニューオータニ長岡
		3	(木)	公式訪問 ④三条RC・加茂RC・三条南RC・田上あじさいRC	ジオ・ワールド VIP
		5	(土)	第1回米山記念奨学委員長セミナー	ホテルイタリア軒
		6	(日)	全国危機管理委員長会議	AP日本橋
		8	(火)	公式訪問 ④見附RC・三条北RC・三条東RC	ジオ・ワールドVIP
		9	(水)	公式訪問 ①新発田中央RC	割烹 志まや
		10	(木)	公式訪問 ④燕RC・分水RC・吉田RC・巻RC	燕三条ワシントンホテル
		12	(土)	第1分区IM (風間G補佐・豊栄)	月岡温泉 ホテル清風苑
		12	(土)	第7分区IM (和泉G補佐・新井妙高)	デュオ・セレッソ
		16	(水)	公式訪問 ③新津RC	割烹 榊形屋
		19	(土)	南雲年度 地区大会1日目 / RI会長代理歓迎晩餐会	長岡グランドホテル
		20	(日)	南雲年度 地区大会2日目	アオーレ長岡
	24	(木)	公式訪問 ①村上RC・村上岩船RC	大観荘せなみの湯	
	11月	ロータリー財団月間			
		2	(土)	クラブ会長幹事研修	ホテルイタリア軒
		9	(土)	新潟南RC創立65周年記念式典 ※内々で開催予定	新潟グランドホテル
		9~10	(土~日)	日本ロータリー学友会総会	東京海洋大学 越中島キャンパス
		16	(土)	2025-26年度長期派遣学生選考試験	ホテルオークラ新潟
		16	(土)	米山記念奨学生学友会総会	ホテルオークラ新潟
		30	(土)	補助金管理セミナー	ホテルイタリア軒

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
糸魚川中央	伊藤 麗	2024.08.01	MED AGREE CLINIC	外部顧問	病院及びサービス
新潟	平形 尚久	2024.08.06	日本銀行	新潟支店支店長	中央銀行
三条北	長谷川 千佳	2024.08.06	第一生命保険(株)	営業	保険業
新潟西	宗村 勇二	2024.08.09	(有)ムネケン	代表取締役社長	土木工事
新潟	石井 宏明	2024.08.27	東日本電信電話(株)	新潟支店支店長	通信事業
新井妙高	霜鳥 正弘	2024.08.28	(株)シモトリ電気	代表取締役	電気工事
糸魚川中央	渡邊 幸	2024.09.01	合同会社 おらとこリンク	代表社員	情報提供サービス
加茂	石川 貞行	2024.09.12	(株)石川鍍金工場	代表取締役社長	金属製品製造

【訃報】

ご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
糸魚川中央	藤田 重幸	2024.09.03				名誉会員



『マークのマジカルマーカ―』

第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター 四宮 孝郎（大阪西南RC）

「世界でよいことをしよう」の旗を掲げているロータリー財団を、走る車にたとえるならば、**年次基金寄付はガソリン**で必要不可欠のもの！！

と今年度の財団管理委員長マーク・ダニエル・マローニー氏は語っています。



『マークのマジカルマーカ―』とは、以下の5項目です。



1. 8月31日までに**年次基金**への**寄付を行い** 12月31日までに**恒久基金**寄付を行う。
2. **自動定期寄付**を利用する地区内の会員を増やす。
3. **ポリオプラス基金**への寄付を奨励し、地区運営のポリオプラス・ソサエティの設立または維持の方法を学ぶ。
4. 年次基金への毎年1,000米ドルの寄付を誓約したロータリー会員を認証する **ポール・ハリス・ソサエティ**への認識を高める。
5. 財団の**恒久基金**への寄付を増やすためのミリオンダラーイベントを計画するチームを編成する。

財団への寄付については年次基金寄付、恒久基金寄付、ポリオプラス基金寄付などがありますが、ロータリーの今日の活動を支える為のものが、年次基金であるのはご存じの通りです。寄付金額の多寡にかかわらず、すべてのロータリアンによる年次基金への寄付が、ロータリー財団を支えています。

実は、財団への寄付総額のうち、約5%は1人当たり25～99ドルの寄付によるものです。**「EVERY ROTARIAN, EVERY YEAR」**

日本のロータリアンにとって、昨年度から続く円安の為替傾向は厳しいものがありますが・・・しかし、下記の表にあるように**日本円では前年度実績を上回っています！**

年次基金 ^①			寄付合計 ^②		
2022-23 ^③	2023-24 ^④	前年度比 ^⑤	2022-23 ^③	2023-24 ^④	前年度比 ^⑤
US\$11,901,024.93 ^⑥	US\$11,141,160.71 ^⑦	93.62% ^⑧	US\$16,340,415.06 ^⑨	US\$16,411,015.16 ^⑩	100.43% ^⑪

*2022-23年度は災害救援基金が年次寄付に含まれていますが、23-24年度からは含まれなくなりました。^{①②}

年次基金 ^①			寄付合計 ^②		
2022-23 ^③	2023-24 ^④	前年度比 ^⑤	2022-23 ^③	2023-24 ^④	前年度比 ^⑤
¥1,570,464,053 ^⑥	¥1,608,991,690 ^⑦	102.45% ^⑧	¥2,210,263,142 ^⑨	¥2,419,404,059 ^⑩	109.46% ^⑪

*公益財団ロータリー日本財団で受領した日本円の寄付額^{①②}



ご寄付は3年間投資され
その収益が財団の運営に
活用されます

寄付の活用方法をシェアして決定

国際財団活動資金
(管理委員会が決定)

地区財団活動資金
(DDF)
(地区が決定)



グローバル補助金
と各種プログラム



地区補助金
グローバル補助金

^{①②}ポリオプラス、ロータリー平和センター、他地区への寄贈、
恒久基金(重点分野)を含む

これからも我々はロータリアンである誇りと自信を胸に、「世界でよいこと」の実現に向かって**ガソリン**を補給し続けてまいろうではありませんか！



第2地域 ポリオ根絶コーディネーター 柳生 好春（野々市 RC）

7月17日に国際ロータリーが加盟するGPEIのポリオ監視委員会で野生型ポリオ根絶を証明する期限が2027年に延長、変異型ポリオウィルスについては2029年に延長された。今年度は残念ながら野生型ポリオの発症数は前年度の同時期を上回っている。ロータリーは1985年から粘り強くポリオ根絶に向けて取り組んできたが、ここにきて会員の一部に厭戦気分にも似た感情があることを見聞きする。

ロータリーの4つの「ボイス」の1つに「粘り強さ」が掲げられていることをご存知だろうか。「ポリオ根絶」はロータリーが国際社会に約束した最重要テーマであり、ここで投げ出すわけにはいかない。また「約束を守る」は中核的価値観の1つ「高潔性」としてしばしば引用される。



これまでロータリーはポリオ根絶に25億米ドル以上を投入し、122か国、約30億人の子供に予防接種を行うため多大な時間をかけてきた。この実績が評価されWHOやUNICEFから高い評価を得、根絶の暁にはノーベル平和賞の受賞も取り沙汰されている。

6月にパレスチナのガサ地区で循環型変異型2型ポリオウィルスが下水サンプルから確認された。8月にワクチン接種歴のない乳幼児に感染が確認され、9月に入りハマスとイスラエルの間でポリオワクチン投与のための期間限定の停戦が実現した。大きくテレビなどのマスメディアで取り上げられ、日本人医師清田明宏氏の活躍をそこで知った。WHOに15年務め、現在はヨルダンのアンマンに本部を置く国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)の保険局長として精力的に活動している。氏は「ガザの不条理に目を背けるな」のメッセージを発信する。ロータリー活動の究極の目的が世界平和にあり刮目せざるを得ない。「ポリオの根絶」はその一里塚である。

EPNCの役割について考えてみた。ポリオ根絶に向けたファンドレイジングと理解の増進にあることは明白である。しかしこれを効果的に行うには「人間は事実や数値や方程式ではなく物語の形で物事を考える」(イスラエルの歴史家ユバル・ノア・ハラリ)が箴言である。

※GPEI 世界ポリオ根絶推進活動



第1地域 カルガリー国際大会 日本推進チームメンバー 伊藤 三之（山形北RC）

1 カルガリーでロータリーのマジックを味わいましょう！

今年度の国際大会は、2025年6月21日から25日まで、カナダのカルガリーで開催されます。カナダのロッキー山脈に囲まれた絵画のように美しい町で、世界中から集うロータリー会員と出会い、アイデアを分かち合い、交流することで、ロータリーがインターナショナルな団体であることを実感することができます。ロータリーのマジックをいたるところで感じ、ほかにはない体験を味わいましょう。



2 発想の転換をしてみれば！

まずは、場所。確かにカナダのカルガリーは遠いし、ほとんどの方は行ったことのない場所です。これまで何度か訪れたことがあり、なじみのあるシンガポールや、台湾、ホノルルとは違います。でも、だからこそ、ロータリーの国際大会のために、心を許しあえる多くの友と一緒に試してみる価値があるのでは。きっと新たな発見、新たな感動があるはず。一生の思い出になるでしょう。カルガリーには、言葉を失うほどの自然の美しさばかりでなく、カナディアン・ロッキーの湧き水と、世界最高峰の大麥に恵まれていることから、多くの著名なクラフトビール、さらには、日本のサントリーが所有するカナディアンウイスキー「アルバータ」蒸留所もあります。

次に、時期。6月下旬と言えば、ロータリーの年度末であり、次年度が間近に迫っている時期です。でも、だからこそ、クラブや地区、さらには多くの日本のロータリー会員の仲間と、そして世界の仲間と、一年間の苦勞を称え喜びを分かち合い、次年度へのエネルギーを蓄える絶好の機会となるのではないのでしょうか。

3 なるべく早く決断してね！

国際大会の登録料は、今年12月中旬、そして来年3月末を区切りにだんだん高くなっていきます。言うまでもなく、航空運賃、ホテル代しかりです。なるべく早く検討し、計画し、決断する必要があります。

4 ご質問やご相談はお気軽に！

国際大会に関するご質問やご相談は、私たち日本推進チームメンバーにお気軽にお声がけください。できる限りのお手伝いをさせていただきます。

第1地域 伊藤三之(山形北RC) lawyer-i@js7.so-net.ne.jp

第2地域 樋口 明(神奈川RC) higutikk@violin.ocn.ne.jp

第3地域 安行英文(三田RC) mayfairchelsea@icloud.com



カルガリーでお会いしましょう！

カルガリー国際大会チラシ↑



1 モンゴルの米山学友 2 人が国会議員に

モンゴル出身の米山学友、ジャンチブ ガルバドラッハさん（1998-99／山形北RC）、ガンゾリグ ロブサンジャムツさん（2009-11／小田原城北RC）が、7月の選挙で見事当選を果たし、モンゴル国国会議員となりました。今回は、お二人に抱負や思いをお伺いしました。

【ジャンチブさん】



国の基礎・根幹は「教育」です。この3年間、モンゴル国内の公立学校のうち60校に対して「学校経営改善プロジェクト」を実施してきましたが、さらに120校を追加し、規模を拡大していきます。深刻な教員不足にも大きな改革が必要です。

「今の私がいるのは日本留学のおかげ」、と常に発信してきましたが、今後は国家レベルでモンゴルと日本の関係をさらに深めたいです。今回当選した議員の中に10人以上の日本留学経験者があり、うち2人は大臣になっています。私もガンゾリグさんと共にモンゴル・日本友好議員連盟に入ったので、いつかは会長になりたい、と思っています。

奨学生時代、世話クラブの方々に対して、「恩返ししたい、そのために自分の夢を実現し、国を背負っていく人材を育成したい」と約束していました。ですので、現役奨学生・学友の皆さん、私と共に「夢を語りましょう。そして叶えましょう」。お互いに頑張りましょう。

【ガンゾリグさん】



ウランバートル市の課題である大気汚染、交通渋滞の解決に向き合うと同時に、市民参加型のまちづくりを目指していきたいです。私自身、都市開発のエキスパートとして、日本企業で培ってきた経験は必ず活かせると思っています。また、日本ともインフラなどの分野で協働していきたいです。私を含め、若い議員が増えたことで各省庁が活発になっており、これからさまざまな改革・改善ができれば、と期待しています。

奨学生時代を振り返ると、一番忘れられないのは米山奨学金に合格したときでした。私の志、能力をしっかりと見抜いていただいたことにとっても感謝していますし、世話クラブの方々とも素敵な時間を過ごすことができました。米山奨学生・学友の皆さんにはぜひ、広い視野を持ち、母国や世界に目を向けてほしいと思います。そして、日本、モンゴルも同様ですが、可能性にあふれた若い人たちにチャンスを与える社会になってほしいです。

2 まもなく米山月間資料が届きます（9/24 発送）

10月はいよいよ米山月間です。今年も米山月間用資料を全国の皆さまへお届けします。

毎年恒例の『豆辞典』は、米山記念奨学事業についての情報がほぼ網羅されている小冊子です。会員数分お送りしますので、ぜひ1人一冊お手元にお持ちください。豆辞典を使って米山奨学事業を説明するためのパワーポイントは、9月中旬に当会HPで公開予定です。そのほか「クラブ米山記念奨学委員長の手引き（寄付マ

ニユアル合冊）」「2023年度事業報告書」「2023年度決算報告」を送付します。

追加資料のお申し込みは、同封の「追加資料申込書」に記入の上、お送りください。ご希望の部数を当会から発送いたします。



3 寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —

前年同期比

- 27.5%

普 - 3.6% 特 - 49.0%

8月までの寄付金は、前年同期と比べて27.5%減（普通寄付金:3.6%減、特別寄付金:49.0%減）、約1億960万円の減少となりました。7月と同様、1億円近くの減額と

なったのは、前年度の初めに同額の高額寄付をいただいたことが影響しています。

来月は米山月間です。当財団は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当財団への寄付金には所得税、法人税の税制優遇が受けられます。相続税も非課税となります。10月の米山月間も引き続きご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

4 理事会と評議員会を開催

8月23日に第43回理事会を都内にて開催しました。当日は、全国から理事28人、監事2人と、役職理事候補者指名委員長として小沢一彦名誉理事長の計31人が出席しました。若林紀男理事長が議長を務め、第1号～第8号の全ての議案が原案通り承認可決されました。

【第43回理事会の主な議案】

評議員後任候補者／理事・監事候補者／2023年度事業報告／2023年度計算書類／2024年度収支予算書一部修正／2024年度専門委員選任ほか

また、9月10日には第16回定時評議員会を都内にて開催し、全国から評議員26人、役職理事7人と監事3人が出席しました。開催前、第

5代よねやま親善大使の陳瑤さん（2012-14／四日市東RC）がスピーチを披露しました。

定款により、評議員会の議長は出席評議員の中から選ばれることになっており、第2580地区の鈴木喬評議員が議長に選出されました。

鈴木議長の進行で、報告事項として、①理事会決議報告 ②職務執行の状況報告 ③2023年度事業報告が資料に基づき説明され、続いて理事会から上程された「後任評議員の選任」「理事・監事の選任」「2023年度計算書類承認」など4議案が諮られ、全て原案通り承認可決されました。

それぞれの会議終了後、今期をもって退任となる役員の皆様に、若林理事長から感謝状が贈呈されました。

5 千葉の親子三代夏祭りで神輿を担ぐ

8月18日、第2790地区米山学友会と現役奨学生が親子三代夏祭りに参加しました。

当日は米山学友3人、現役奨学生8人が参加し、同地区の内村愛米山奨学委員長も参加しました。

千葉の親子三代夏祭りは、新たに千葉市に来た人も昔から千葉に住んでいる人も、共に楽しみ、皆が千葉市を「自慢のふるさと」と感じら



神輿を担ぐ奨学生・学友たち

れるように、と始まった祭りで、多くの地元住民が集結。参加した米山奨学生・学友たちはロータリー会員と神輿を担ぎ、活気を肌で体感しました。

参加した奨学生の魏伯航さん（2023-25／千葉幕

張RC）は「お祭りに参加できただけでなく、神輿という伝統文化を体験でき、最高の思い出になりました」と、感想を述べました。

★海外米山学友会総会日程のご案内★

韓国 2024年11月16日（土）

台湾 2024年12月8日（日）

ともに詳細未定（決定次第お知らせいたします）